

未来茨木市2018

～ 未来のいばらきコンテスト ～

revival

ミツバチ推進都市

● チーム名

revival リバイバル

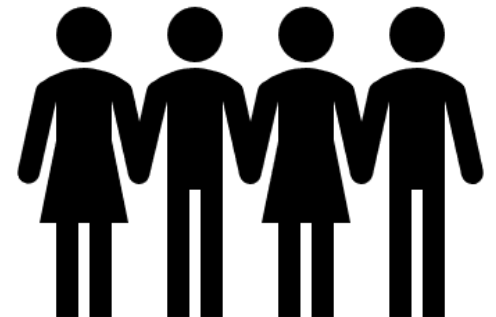
● チームメンバー

松岡航汰

堤 亮太

東 琴美

谷 瑞稀



1 Vision : 30年後の理想の茨木市

● ビジョンキャッチコピー

ミツバチ共生都市

● 30年後の未来の茨木市の姿

ミツバチ保護と都市の共生モデル都市

なぜミツバチ？

受粉

によって野菜や果物は育成される。

世界の食料の90%をまかなっている100種類の作物のうち70種類がミツバチの授粉によって育成されている。

ニホンミツバチという日本在来種のミツバチがいる。

ニホンミツバチは大人しく、ほとんど人を刺さない

現在世界中でミツバチが減少している



もちろんハチミツも！

市場に出回っているほとんどがセイヨウミツバチ産。

二ホンミツバチ産のハチミツは **幻のハチミツ** と呼ばれ、



1kgで 1万円ほど で取引されており、

10kgや20kgほど蓄えていることも珍しくない！

蜜蝋でキャンドルや木材のワックスなどにも！



持続可能な都市

都市と緑の共生した暮らしを目指し、
ミツバチにとって生息しやすい環境を整える



そこに暮らす人々にとって生きやすいまちづくり。

二ホンミツバチ 教育研究センター支援設立

目的・概要

茨木市内の大学内などに設置

茨木市内の各教育機関と連携する



学生主体で研究、運用する

重点政策①にかかる予算

予算

600万円

各重点政策にかかる予算

- $20\text{万円} \times 3\text{校} \times 10\text{年} = 600\text{万円}$
- 各大学内にセンターを設置し、研究や運用は大学及び学生主体で行う。
- ミツバチの巣箱を大学内に設置。
小中学生や高校生に環境教育の一環としてハチミツの採取体験や、観察を行ってもらう。

農家への助成

目的・概要

- 農薬や、遺伝子組み換えを行った種子を使わずに農業を行う。
- 試験的に農家さん10世帯を対象に行う。



無農薬栽培への移行

重点政策②にかかる予算

予算

1000万円

各重点政策にかかる予算

- **10万×10世帯×10年=1000万円**
- 【メリット】
費用があまり掛からない
- 【デメリット】
手間が掛かる

学生による
ボランティアが
可能！



市民への普及啓発

目的・概要

- ゆるキャラなど、特徴的なキャラクターづくり
- みつばちマップアプリなどの開発、連携
- 3月8日を「ミツバチの日」に制定し、イベントを開催する。

重点政策③にかかる予算

予算

170万円

各重点政策にかかる予算

- ゆるキャラクター体の製作費 約40万円
- アプリ開発費用補助金 100万
- イベント開催費用 20万円
- ポスター制作費 約300円×300部＝約10万円

重点政策にかかる予算

総予算

1770万円

- **ニホンミツバチは野生の生き物なので初期導入費用があまり掛からない**
- **大学や学生が主体な為、運用費もあまり掛からない**

まとめ

- **世界的な課題である為、注目度も高い**
- **学生の多い市という特徴と、
都市部と農村部のハイブリット都市である
茨木市だからこそ実現可能な政策**

参考文献

- ミツバチ Wikipedia
<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9F%E3%83%84%E3%83%90%E3%83%81>
- 週末養蜂家の二ホンミツバチの美味しいはちみつ
<https://syumatsu-yoho.com/38/>
- 日本養蜂協会
<http://www.beekeeping.or.jp/>



ご清聴ありがとうございました。

